

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月21日更新

事務事業名	学校給食センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治	
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	工藤 哲生	
	基本事業	63	食育の推進			所属班	学校給食班	(内線)	096-248-2102	
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 3	事業連番 10683	法令根拠	学校給食法		成果優先度評価結果	: ⑫
									コスト削減優先度評価結果	: ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	開設(昭和53年4月1日)で老朽化した給食センターの施設設備や厨房機器等の維持管理及び、7月に給食センター建替が完了後の2学期からは新給食センターの維持管理を行った。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	調理に必要な備品や消耗品を購入するなど給食の提供がスムーズに出来るように配慮した。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費) 役務費(汚泥汲み取り手数料) 委託料(消防・電気・機械警備等)
【意見や要望】	9月から新しい給食センターが稼働し、日々の清掃や器具洗浄料が増加した。衛生面や作業環境は良くなった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
安全で衛生的な給食が提供できるように、施設設備や厨房機器等の維持管理を行った。	より安全で衛生的な給食が提供できるように、施設設備や厨房機器等の維持管理を確実に進行。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 機械修繕件数	件
イ: 機械保守点検回数、汚泥汲み取り回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
給食センター、及び調理員	(単位)
	→ ア: 給食センター面積
	イ: 調理員数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全で、衛生的で安定した調理ができる	(単位)
	→ ア: 調理に支障をきたした件数
	イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
施設が新しくなることから修繕等減少すると思われる。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 件	28	23	10	8	10	10	10	10	
	イ 回	12	12	12	11	12	12	12	12	
②対象指標	ア m <sup>2</sup>	902	902	1,896	1,896	1,896	1,896	1,896	1,896	
	イ 人	23	24	25	26	27	28	29	30	
③成果指標	ア 件	1	0	0	2	0	0	0	0	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円				62			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	15,561	15,490	24,088	22,290	25,080	35,000	30,000	30,000
	(A)事業費計	千円	15,561	15,490	24,088	22,352	25,080	35,000	30,000	30,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	10	11	9	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	5,220	5,172	4,595	0	0	0	0	0	
(B)人件費計	千円	21,506	20,884	18,554	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	37,067	36,374	42,642	22,352	25,080	35,000	30,000	30,000	

事務事業名	学校給食センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 安全安心な給食を提供するために、着実に維持管理を行った。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状を維持する	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 給食センター維持管理上必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 給食センター維持管理上必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 給食センター維持管理費は市負担である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 給食センターの運営を民間委託にする。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、施設設備や厨房機器の維持管理を確実に行った。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						